

# (1) 継続契約方式 ～方式の概要～



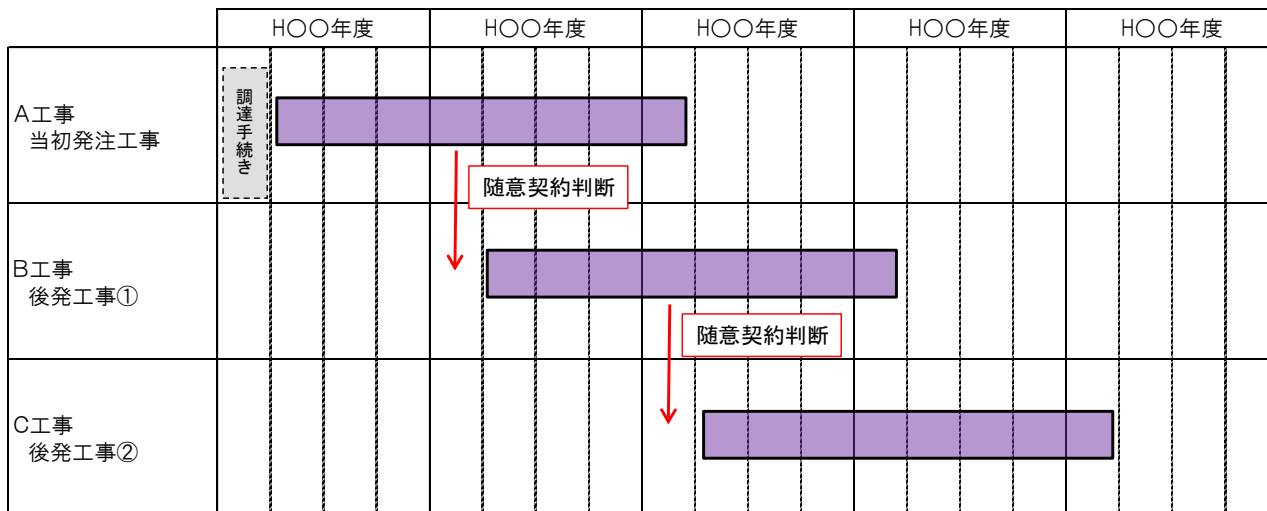
- ◆ 特定更新等事業や耐震補強工事等については、一定の期間に同種の工事を集中して実施が必要
- ◆ 一方、調査・設計ストックの確保や、入札契約手続きなどの工事発注業務の集中に労力
- ◆ 類似工事について、工事発注に必要な調査や設計、協議等を円滑に実施するための方策が必要



- ◆ 発注準備が整った工事を「当初発注工事」とし、設計や調査の完了後に実施する工事を「後発工事」として契約する『継続契約方式』を制定
- ◆ 継続契約方式の導入により下記効果を期待
  - 当初発注工事におけるノウハウを後発工事に活用することによる安全面や品質面の向上
  - 調達手続きの効率化による受発注者双方の負担軽減や入札不調リスクの軽減

## ■ 継続契約方式によりNEXCO東日本の特定更新等事業での『中長期の工事発注の平準化』を目指す

【継続契約方式による工事イメージ】 ※後発工事は最大2件まで



【継続契約方式の対象】

工事種別 (競争参加資格)	工事内容
土木工事	耐震補強工事、トンネル補強工事など
橋梁補修工事	床版取替工事など

- ✓ 後発工事との合計規模がWTO基準額※以上
- ✓ 当初発注工事の規模に関わらず、当初発注工事は一般競争入札方式 (WTO適用) により発注

※契約制限価格 (税込み) が22 億9,000 万円

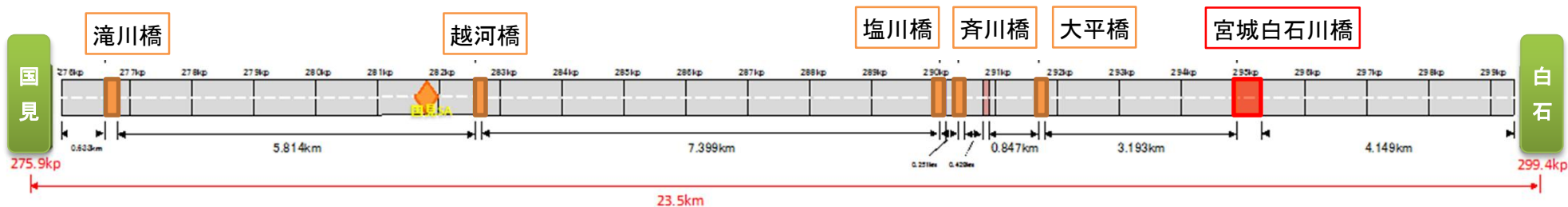
# (1) 継続契約方式

～継続契約方式の初弾工事として、東北道、福島管内の床版取替工事を発注予定～

工事名	東北自動車道 宮城白石川橋床版取替工事
工事箇所	東北自動車道 国見IC～白石IC間
公告予定時期	平成30年度 4/四半期
本工事の概要	床版取替 約 5.0km <sup>2</sup> (宮城白石川橋)



✓ 後発工事は、国見IC～白石IC間の下記橋梁の床版取替工事を予定



## 【後発工事の随意契約判断について】 ※入札公告（説明書）記載例

- 後発工事の随意契約については、本工事及び既に契約締結済の後発工事に関する成績評定の結果を踏まえ、本工事の受注者と随意契約を実施すると判断した場合に、本工事の受注者に対し、随意契約の締結意思確認及び技術提案書の提出を求める。
- 随意契約の締結意思がある旨の回答があった場合は、提出のあった技術提案書の内容の審査を行ったうえで、本工事の受注者に対して後発工事に係る見積書の提出を求め、見積合わせを行い、契約を締結するものとする。



( 宮城白石川橋 )

## (2) 技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ)

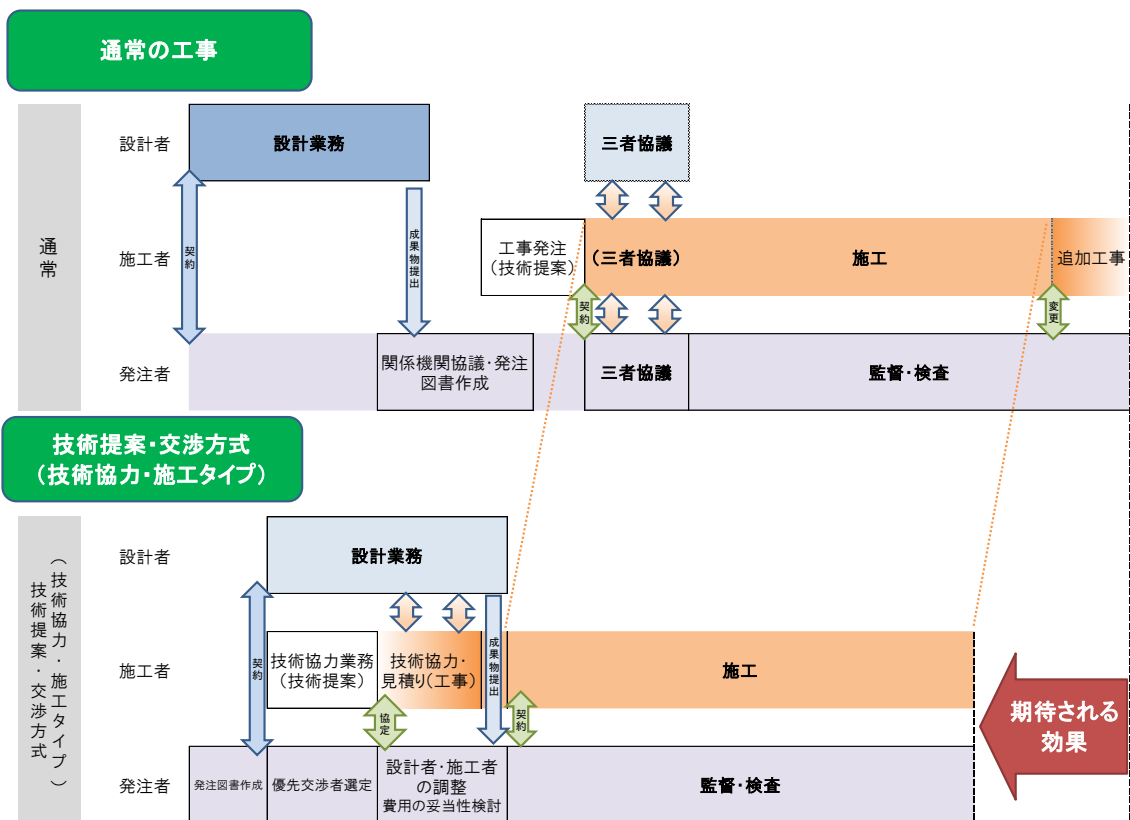
- ◆ 技術提案・交渉方式は、仕様の確定が困難な工事に対し、技術提案の審査及び価格等の交渉により仕様を確定し、契約制限価格を定めることを可能とする落札者選定方式【改正品確法（H26.6施行）に規定され、国土交通省でガイドライン制定】
- ◆ 技術協力・施工タイプの場合、施工者が調査・設計に対する技術協力を行い、建設コンサルタントの行う詳細設計へ施工者の知見の反映や、不確定要素への対処が可能



◆ 当社の工事に導入することで、下記を期待

- ✓ 施工者のノウハウや優れた技術を反映した、確実かつ合理的な設計
- ✓ 設計完了から工事着手までの期間短縮や、工事実施時の工事内容の変更の削減  
(工事実施時の工事変更手続きや協議を低減でき、効率化に寄与)

導入効果のイメージ (工事着手・完了時期の比較)



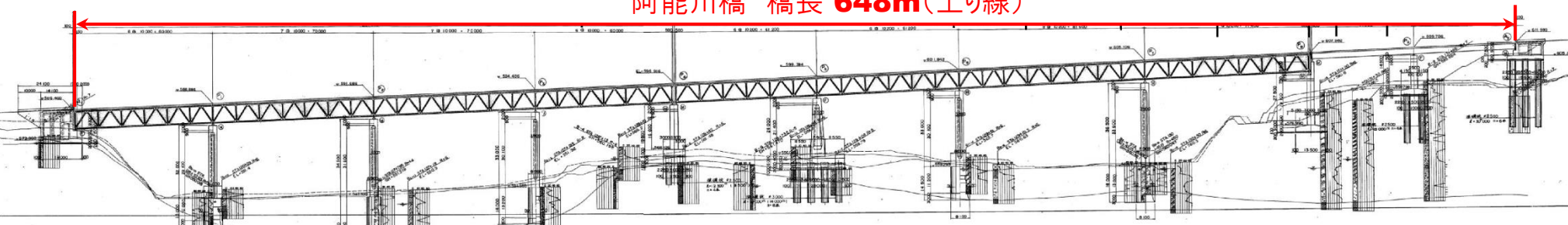
## (2) 技術提案・交渉方式

～「技術協力・施工タイプ」のリニューアルプロジェクトへの導入初弾として、  
関越道のトラス橋の床版取替工事を発注～

NEXCO

- ◆ 事例の少ない鋼トラス桁の床版取替であり、床版取替時の応力分布や拳動の把握を反映した施工方法等に専門的なノウハウ・工法等の活用を図る

阿能川橋 橋長 648m(上り線)

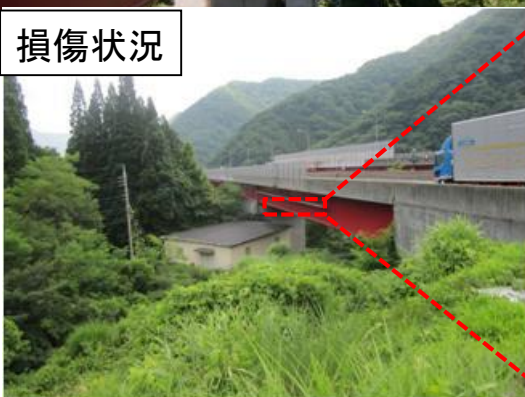


位置図

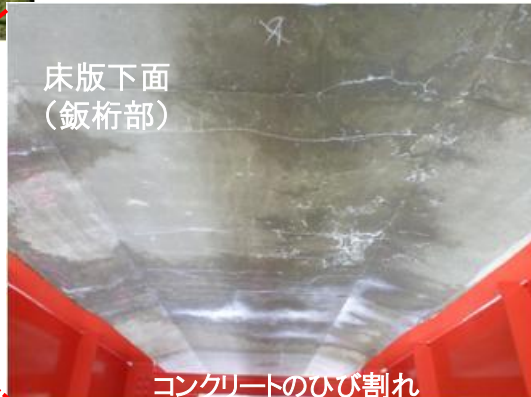


工事名	関越自動車道 阿能川橋床版取替工事
工事箇所	関越自動車道 水上IC～湯沢IC間
公告予定時期	平成30年度 3/四半期*
工事の概要	床版取替 約 7.0km <sup>2</sup> 橋脚補強 約 25基
技術協力の概要	阿能川橋における施工計画検討

損傷状況



床版下面  
(鈹桁部)



コンクリートのひび割れ

床版下面  
(トラス桁部)



コンクリートのひび割れ